



# X 考える葦



下野市立古山小学校  
校長室インフォメーション  
令和3年度 1月号  
令和4年1月13日  
発行責任者 梶原 和子

「何となく 今年はいい事あるごとし 元日の朝 晴れて風無し」(石川啄木)

新年明けましておめでとうございます。この歌のようによい事があると希望をもちたいですね。そして、今年度の締めくくりも目前となりました。古山小学校の児童の皆さんには、残り3か月、悔いの残らないように生活してほしいと願っています。

さて、昔から日本のお正月には「書き初め」という年中行事があることを皆さんもご存じのことでしょう。平安時代の宮中の儀式がはじまりだそうです。お習字を習っている人は毎年書いているかもしれませんが、書き初めには、一年の抱負を心新たにするという意味があります。今年一年の目標や抱負を書くことで、行動を新たにすることだそうです。

今回は、この書き初めに困って、文字を書くということについて少し考えてみましょう。児童の皆さんは、毎日ノートやワークシート等に文字を書いていますね。お家に帰ってからも宿題などで、殆ど毎日文字を書いていると思います。その時、書き初めやお習字のときのように、心を込めて書いているでしょうか。文字を書くということは、自分自身に向き合うことでもあり、自分の心のありようを示すものでもあります。乱暴な文字を見ると、何かおもしろくないことがあったのかな、困ったことが起こったのかなと心配になります。丁寧に書かれた文字からは、落ち着いた人柄なのかな、などと想像します。タブレット端末やスマートフォンが日常的に使用されていますが、自分の手で文字を書くことはずっと必要とされることです。急に文字が丁寧に書けるようにはなりません。文字を書くということについて、「手はただ動くのではなく、いつも奥に心が控えている・・・」と述べた人がいます。新しい年が始まった今、毎日の授業で文字を書くときには、一文字一文字を心を込めて書くことができるように挑戦してみてください。そして、自分自身に向き合う時間を大切にしましょう。

## 冬休みが終わりました。いよいよ今年度も残りわずかです！

冬休み前に、過去の新聞の帰国子女の方からの投書について話をしました。投書の内容は、「日本に帰ってきて驚いたことは、子ども同士で宿題を写し合っていること、先生に常に教えてもらうだけで自分で調べ、『私はこう思うが・・・』という質問をする児童生徒が一人もいないこと。私たちは、『与えられた情報や知識を信じ込まないで、それらが本当に正しいのか、疑問を持って対応しなくてはならない』と教えられてきました。」でした。



教わり覚えることも大切ですが、それ以上に大切なのが、与えられたことをやるだけでなく、自分でどんどん学習し続けようという意欲と学習の仕方を理解すること。これが重要だということをお話しました。主体的な学びが自分の考えを深め、広げます。ぜひ、「なぜ？どうして？」という気持ちを持ち、探究する目と気持ちを養ってほしいと思います。

## 児童消費者教育講座を行いました

11月30日、6年生を対象に、下野市消費生活センター職員の方による消費者教育講座が行われました。講座の中では様々な消費にまつわる事例から、トラブルに発展しそうな内容を子どもたちにロールプレイを通して考えさせる場面もありました。講話の内容は『契約って何だろう？毎日の生活の中で考えよう！！』でした。「消費者とは」「買い物は」「契約とは」をキーワードに学習が進み、「クレジットカード等」についてや、「インターネットでのトラブル」等も含めて、お金に関する様々なことを学ぶことができました。1月はお年玉をもらう子どもも多いでしょう。本講座で学んだことを忘れず、お金を使う時はよく考え、大事に使うようにしてください。





## なかよし人権&音楽集会を行いました

12月6日～10日は「人権週間」です。人権週間では、「豊かな人間性や人権意識を養い、自分も相手も大切にできる心の優しい子どもの育成」を特に意識した指導をしました。この人権週間を通して、人権尊重について考える授業を行ったり、人権標語を考えたり、集会を開き全校児童で人権に考えたりしました。12月7日は、「なかよし人権&音楽集会」を実施し、人権擁護委員の方から「相手の気持ちを考えよう」「見かけで人を判断しない」等のお話をしていただいた後、児童たちが「世界中の子どもたちが」の歌に合わせて手話を披露しました。短い時間でしたが、みんな頷きながら真剣に話しを聞き、一生懸命手話で歌詞を表現しました。人権週間だけでなく、いつでもみんな仲良く楽しく生活できるといいですね。



## 石橋中学校との交流活動を行いました！

本市では、各中学校区で小中学校の交流活動を行っています。主な活動の場は、「下野市子ども未来プロジェクト」という、小・中学生が主体的に、自分たちの学校生活をよりよくする取組を行うプロジェクトです。その活動成果発表を毎年「下野市教育のつどい」で行っています。また、市小中一貫教育でも交流活動を行っています。今は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、実際に行き来しての交流は控えていますので、今回はオンラインでの交流を行いました。その様子が上の写真です。



## 学校開放で自由に授業風景を見ていただきました

12月15日、16日両日とも、2、3、4時間目を学校開放とし、保護者の方々に自由に授業風景を見ていただきました。感染症予防の観点から、地域別に2日間で実施させていただきました。たくさんの保護者の皆様ご来校、ありがとうございます。子どもたちも、ご家族の方を見かけると、嬉しそうな笑顔を見せていました。授業中の姿もいつもと少し異なり、真剣そのものでした。良いところを見せたいという気持ちがよく伝わりました。また、15日は、「下野かんぴょう・ふくべ振興の会」の方に講師をお願いし、3年生に「ふくべ絵付け」体験の指導をしていただきました。子どもたちは、乾燥した「ふくべ」に思い思いの絵を描いていました。今年の干支の「寅」や古山小学校の校章をモチーフにしたものがたくさんありました。学校で展示した後は、ご家庭で飾ってください。2日間お世話になりました。今後とも、古山小学校をよろしく願います。



※ 児童の活動の様子や学校行事等については、学校ホームページに掲載していますのでぜひご覧下さい。  
学校HPアドレス [http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e\\_school/koyama/](http://www.school.shimotsuke.ed.jp/e_school/koyama/)



